

———— ICT活用で農業の未来を拓く ————

JAグループ愛知、経済界と連携して
環境測定器「あぐりログBOX」・農業生産管理システム「Akisai（秋彩）」を
JA向けに改良、2015年11月より本格導入開始

JA西三河（本店：愛知県西尾市、代表理事組合長：名倉正裕）、JA愛知中央会（会長：吉田濱一、以下「中央会」）とJAあいち経済連（会長：吉田濱一、以下「経済連」）は、経済界と連携し、農業用ICT機器・ツールの改良を進めてきた。JAグループ愛知が改良したのは、環境測定器「あぐりログBOX」、食・農クラウド「Akisai（秋彩）」の2つ。

2015年3月よりJA西三河きゅうり部会などで試験導入を行い、より使いやすいツールとなるよう農家の意見を取り入れて機能の追加・改良を行った。今年11月より、JA西三河管内である西尾市ではキュウリ・イチゴなどの施設野菜やバラ・菊などの花き類の農家が本格的に導入している。

これらのICTツールの開発は、農家の生産性および所得の向上を目的とするJAグループ愛知の自己改革実践方策の一環。今後JAグループ愛知は、これらのツールの面的普及を通して、農家同士の情報共有体制を確立するとともに、蓄積したデータの分析・活用を通して産地全体の農業生産技術を高め、より高度化した施設園芸産地づくりを目指す。

① ハウス環境を「見える化」し、部会全体で情報共有を行う

環境測定器「あぐりログBOX」

「あぐりログBOX」は、(株)IT工房Z（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：座光寺 勇）と愛知県が共同開発し、JA西三河・経済連が改良に協力した環境測定器。ハウス内の温度・湿度・CO2濃度を5分間隔で測定しサーバ上に保存する。温度などの変化は、パソコンやスマートフォンでいつでも確認が可能。3G回線による接続を行うため、ケーブルによる接続も不要。家庭用電源につなぐだけで測定を開始するため、工事の手間が不要で、設置も非常に容易。

試験導入を行ったJA西三河きゅうり部会の農家の意見を取り入れ、「あぐりログBOX」の利用者同士で互いのハウス環境を比較する機能の追加やスマートフォンへの対応、高温・多湿のハウス環境に耐えうる耐久性の向上、通信コストの低減も図った。今後の拡張機能の追加も可能。



「あぐりログBOX」外観
表示BOX（左）には現在時刻・温度・湿度・二酸化炭素濃度が表示される

② 生産記録のリアルタイム化と栽培情報の蓄積・分析
農業生産管理システム「Akisai（秋彩）」

食・農クラウド「Akisai（秋彩）」は、富士通(株)（代表取締役社長：田中達也）が開発した農業生産管理のサービスであり、圃場ごとの栽培計画や施肥・防除などの作業内容を記録する。入力したデータは、いつでもパソコンやスマートフォンを通して確認でき、作業の振り返りに役立つ。

施設園芸等での多品目生産や、部会や産地ぐるみでの利用に対し、今回の試験導入を通して部会や農作業現場での活用を考え、スマートフォンでの見える化や入力方法を大きく改良。ハウスの環境データやJAの持つ選果データ、「Akisai（秋彩）」が持つ作業データを一元的に管理し、農家に有益な情報の提供を実現し、生産部会やJA全体で利用できるよう、JA向け機能の改良を進めている。

今後は、部会活動などにより蓄積したデータの分析・活用を進め、産地の生産性向上に向けた取組を推進する。

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

JA西三河 営農企画課 担当：太田・青山

（電話：0563-56-5274

メール：einoukikaku@ja-nishimikawa.com)

JAあいち経済連 営農総合室 担当：辻井

（電話：052-951-3471

メール：so-tsuji@ja-aichi.or.jp)

J A西三河 名倉正裕代表理事組合長のコメント：

ICTツールの活用と組織活動の充実を両輪として、産地全体の技術力・生産力を高めていきたい。西尾市が世界の先進地と肩を並べる施設園芸・花き栽培の産地となるよう、この地域のJ Aとして力を尽くす。

J A西三河きゅうり部会 ICT研究会リーダー 下村堅二さん（西尾市）のコメント：

現場での使いやすさを重視し、農家が「見たくなる」、「使いたくなる」ツールを目指しました。ICTを通じて、最新栽培技術と栽培現場のチカラを融合させ、施設園芸の新しい時代を愛知発で切り開きます。

図1 「あぐりログBOX」・「Akisai（秋彩）」の連携・利用イメージ（J A西三河）

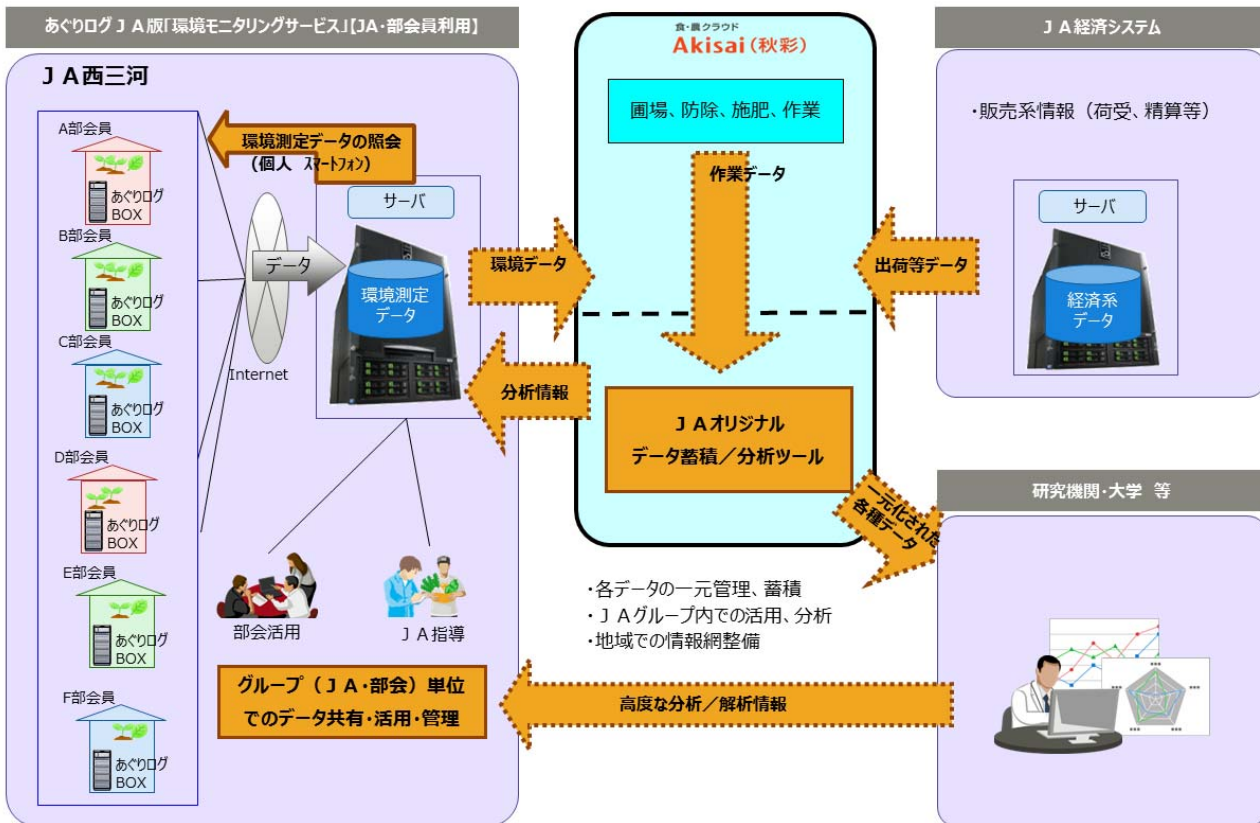
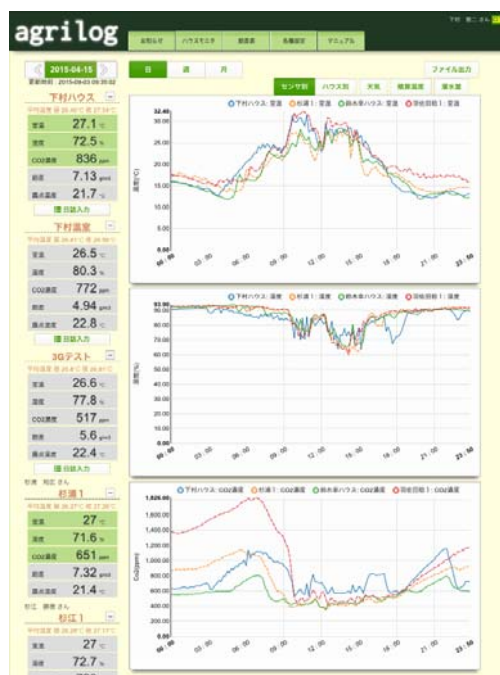


図2 「あぐりログBOX」試作機の設置イメージ

図3 「あぐりログBOX」スクリーンショット



「あぐりログBOX」は施設内に吊り下げて設置する
 回線工事も不要で、設置は非常に容易
 本体の大きさは高さ18.8センチ×幅20.0センチ×奥行8.4センチとコンパクト
 左はJ A西三河きゅうり部会の下村堅二さん



サーバ上に保存された温度・湿度・CO2濃度データは
 パソコンおよびスマホのブラウザで確認でき、
 専用のソフトやアプリのインストールは不要